

## モニタリング結果報告書

施設	真鶴港
指定管理者	真鶴町
施設所管課	小田原土木事務所

(平成 22 年度 上半期)

### 管理運営状況総括

#### 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	H22. 5. 13	H22. 5. 24	概ね良好に行われている
5月	H22. 6. 7	H22. 6. 15	〃
6月	H22. 7. 16	H22. 7. 28	〃
7月	H22. 8. 13	H22. 8. 27	〃
8月	H22. 9. 10	H22. 9. 27	〃
9月	H22. 10. 18	H22. 10. 22	〃

#### 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

##### (1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る  B : 提案どおり  C : 提案を下回る

##### (2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

##### < 提案内容の概要 >

適正で効率的な業務の執行、および法令に基づく適正で公平な利用承認並びに利用者の安全管理。

##### < 実施状況 >

会計事務、公金の取り扱いの相互チェック体制を確立している。

施設の利用承認については、平等性を確保し、利用状況を把握し、効率的な利用承認を行っている。

##### < 提案内容の概要 >

事業者および港湾一般利用者間の利用調整と利用促進およびモニタリングの実施。

##### < 実施状況 >

港湾工事实施に係る小田原土木事務所との事前調整や石材組合、漁業協同組合の事業が混在する真鶴港の特性を活かしつつ、トラブルのない利用促進に努めている。

真鶴港みなとまちづくり協議会を通して、港湾利用関係機関の意見把握に努め、適正な港湾管理に反映している。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	15,758	15,758		15,758	0
上半期計 (a)	7,878	7,878	( )	7,878	0
下半期計 (b)			( )		
4月	3,939	3,939	( )	1,313	2,626
5月	0	0	( )	1,313	△1,313
6月	0	0	( )	1,313	△1,313
7月	3,939	3,939	( )	1,313	2,626
8月	0	0	( )	1,313	△1,313
9月	0	0	( )	1,313	△1,313
合計 (a+b)	7,878	7,878		7,878	0

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

特になし

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用料	前年同月利用料金	前年対比増減率
上半期計 (a)	1,826,838 円	4,297,935 円	△57.5%
下半期計 (b)	円	円	%
4月	218,486 円	1,332,858 円	△83.6%
5月	445,592 円	362,075 円	23.1%
6月	184,624 円	317,784 円	△41.9%
7月	289,863 円	1,547,842 円	△81.3%
8月	415,953 円	354,151 円	17.5%
9月	272,320 円	383,225 円	△28.9%
合計(a+b)	1,826,838 円	4,297,935 円	△57.5%

#### 利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

長期係留船(1年間)の利用申請が前年度の3月中(前年度は4月)に行われたことなどにより、係留料の収入減につながった。

※7月については、前年が例年に比べて極端に多かったため、増減率が大きくなったもの。

#### 5 苦情・要望等の状況

##### (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月						0
5月						0
6月						0
7月						0
8月						0
9月						0

##### (施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			0
5月			0
6月			0
7月			0
8月			0
9月			0

#### 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・なし	
	・	
職員対応	・なし	
	・	
事業内容	・なし	
	・	
その他	・なし	
	・	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	なし
月 日	
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	なし		
月 日			

## 9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>利用承認にあたっては、平等性を確保するとともに、常に船舶の利用状況を把握している。</p> <p>また、無駄な空きスペースのないよう真鶴港ヨット係留施設年間利用者募集要項を制定し、利用者の利便性の向上を図るとともに、効率的な事務の執行に努めている。</p>
施設所管課	<p>基準に基づく利用承認や維持管理業務を実施し、管理運営状況は概ね良好に行われている。</p> <p>真鶴港みなとまちづくり協議会の事業を通して、真鶴港のPR、周知に努めている。</p>